

個別事業名	(1) 切れ目のない総合的な支援体制づくり	継続・追加
事業の趣旨・目的	<p>○結婚から妊娠・出産・子育て・仕事と育児の両立といったライフステージの各段階における課題に対応する総合的な支援の構築に向けて、平成26年7月に「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」を開設し、関係機関と連携しながら、全てのライフステージを通じた様々な支援制度や相談窓口などの情報提供を行ってきたが、平成27年度からは、情報提供から一歩進んで母子保健などの専門知識を持つ専門相談員を配置し、専門的な相談への対応と併せて、地域に出向いて子育て相談などに柔軟に対応するなど、地域の子育て支援の取り組みをサポートする体制の強化を図る。</p> <p>○専用ホームページについては、現状の窓口一覧表による情報提供だけではなく、県民が知りたい項目から制度や窓口を検索できるなど、利用しやすいように、既存のデータの整理やデータベースの構築等の改修を行い、相談者のニーズに対応していく。</p> <p>○また、切れ目のない支援をしていくうえでの基本資料を得るため、新たに県民を対象とした意識調査を実施する。</p>	
(変更・追加分)	<p>(変更・追加) ○高知県が運営する子育て支援ポータルサイトを改修し、母体管理や子育ての情報を定期的に配信する仕組み（メールマガジン配信）をリニューアルすることにより、地域に潜在している妊婦や子育て家庭の不安や悩みに寄りそえる環境づくりを推進する。</p> <p>(変更・追加理由) ○平成27年度は本事業にて「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」に助産師・保健師を配置し、専門的な相談への対応と併せて、地域に出向いて子育て相談などに柔軟に対応する中で、子育て支援や相談の場等に繋がらない地域に潜在している不安や悩みをもった妊婦や子育て家庭への手立ての必要性が課題として見えてきた。</p>	
事業内容	<p>①窓口「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」の拡充、強化（継続、拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県法人会連合会への委託（相談員2名配置）による相談業務（委託） ・母子保健などの専門知識を持つ専門相談員（2名）の配置 ・相談対応（目標相談者数：500名）、相談後のフォロー ・市町村訪問支援（市町村への訪問回数50回） <p>②専用ホームページの拡充</p> <p>③県民意識調査の実施（委託）</p> <p>(継続、拡充の理由)</p> <p>①平成26年7月に開設した当該コーナーは、遠方の方も含めて気軽に相談できるように、窓口での来所相談や電話相談に加え、専用ホームページを開設し、メール相談などにも対応してきたが、出会い・結婚以外の相談は、一旦他の機関への問い合わせ等を行い回答することになるため時間を要することが多く、回答内容も情報提供に止まっているという課題があるため、平成27年度からは、情報提供から一歩進んで母子保健などの専門知識を持つ専門相談員を配置し、専門的な相談への対応と併せて、地域に出向いて子育て相談などに柔軟に対応するとともに、子育て支援部門と母子保健部門をつないでいくなど、地域の子育て支援の取り組みをサポートする体制の強化を図る。</p> <p>②また、専用ホームページでは、現状はライフステージ（出会い・結婚、健康、交流、預ける、相談、制度、就労、その他）別の相談一覧を掲載しているが、県民がピンポイントで知りたい項目や制度などがすぐに探せないファイル形式となっており、情報の提供方法に課題がある。そのため、情報提供方法の課題解消に向けて、既存のデータを目的別に検索しやすくする等の利便性の向上のために、既存データのファイルの整理やデータベースの構築を行う等、県民にわかりやすく利用しやすい形に改修し、相談業務と併せて支援体制の充実を図る。</p> <p>③あわせて、少子化が与える影響や、少子化対策で特に期待する政策等、県民が結婚や子育てにどのような希望を持ち、何にどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等、今後の少子化対策の効果的推進を図るために必要な、県民のニーズを把握することが必要であるため、県民を対象とした意識調査を実施し、基本資料を収集したうえで、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにしていき、出会いから結婚、子育てまでの切れ目のない総合的な支援の推進を図る。</p> <p>○上記のとおり、切れ目のない総合的な支援体制づくりを推進していくが、平成28年度以降についても、応援窓口の継続とあわせて、人口規模が小さく利用者支援事業等を実施することができない市町村が、地域の実情に応じた子育て支援事業を展開することができるように、専門相談員が地域の子育て支援の取り組みをサポートしていく等、さらなる充実を図る予定である。</p>	
(変更・追加分)	<p>(変更・拡充)</p> <p>①窓口「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」の拡充、強化（継続、拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県法人会連合会への委託（相談員2名配置）による相談業務（委託） （応援コーナーに、マッチングシステムによる検索窓口としての機能の追加） 【詳細：(3) 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナーにおける総合的な結婚支援に記載】 <p>(変更・追加)</p> <p>④子育て支援ポータルサイト及びメルマガ配信機能のリニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1メールマガジン配信機能の拡充 ・不安や悩みの多い妊娠期へのメルマガ配信頻度を追加 1回/週→2回/週 ・子育て不安にも対応できるよう、3歳までの子どもの月齢に応じたメルマガの配信機能を追加 生後3カ月まで→2回/週 2歳まで→週1回/週 3歳まで→1回/2週 ・母体管理や子育てに関する情報提供だけでなく、本人や家族に対するメッセージを送ることで孤立感を解消する。 ・メールマガジンに身近な市町村からの情報を追加できる機能を追加し、身近な地域での相談支援につなげる。 （市町村はIDを使って情報をサイトにアップ→登録者が入力した市町村名とリンクして、登録者に当該市町村からの情報が届く仕組み） ◆2ポータルサイトにおける情報発信機能の充実 ・サイトから発信する情報内容について、ニーズに応じた情報内容に見直し ・メールマガジン配信内容及び、サイトからの情報発信内容は医師や助産師、保健師だけでなく、子育て支援センターや子育てサークル参加者等、当事者の視点を入れて検討する。 <p>⑤リニューアルした子育て支援ポータルサイト及びメルマガ配信機能の市町村による活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1市町村訪問時や市町村担当者会等の機会にメルマガ配信機能の活用メリットを説明 ・妊娠期における妊婦へのアプローチが行き届きにくいという課題に対し、メルマガ登録すれば母体管理に必要な知識が広く届けることが可能となる。 ◆2妊婦届及び出生届時にメルマガ配信の登録・利用を勧めていただくよう要請 ・利用を促すチラシを作成し、妊婦届及び出生届時に市町村担当窓口にて配布を依頼 <p>⑥「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」の相談機能の活用によるアフターフォロー体制強化（継続、拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1メールマガジン配信時に「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」の相談窓口を周知し、アフターフォローとして相談機能を活用する。 ◆2子育て支援ポータルサイトやメールマガジンをとおして地域子育て支援センターの取組等を積極的に周知し、同センターの相談機能を出張相談等でバックアップしながら地域での子育て支援体制の強化を図る。 特に妊娠前から子育て支援センターの活用等を促すことで産前産後の切れ目のない支援に意図的に繋げていく。 	

先駆性	子育て支援のみに止まらず、結婚支援や不妊相談、母子保健、子育て中の再就職支援も視野に入れた総合的な情報提供の仕組みは、全国的にも多くの例が見られない先駆的な取り組みと考えられる。
(変更・追加分)	(変更・追加) 支援に繋がりにくい妊婦や子育て家庭へのアプローチは県内各市町村が持つ共通の課題である。県のポータルサイトを市町村が活用し情報発信することで潜在している対象者にも必要な情報を必要な時期に届けることが可能となる(切れ目ない支援)。 また、県のポータルサイトの機能(メールマガジン配信機能・市町村情報発信機能)をIDとパスワードを使って全市町村とシェアできる体制を確保することで、市町村の規模を問わず、市町村は主体性を持って地域のニーズに応じた情報発信ができるようになり、また低予算で広く効果的な情報発信することが可能となる。
実施期間	平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日
所要見込額	36,457 千円